

別紙様式

意見交換会実施報告書

平成27年10月30日

登米市議会議長 沼倉 利光 様

第4班 代表者 浅野 敬

1. 意見交換会の概要

開催日時	平成27年10月14日 午後 7時00分 ～ 8時45分
開催場所	【津山町】津山老人福祉センター（集会室）
出席議員	代表者：浅野 敬 司会者：岩渕 正宏 報告者：佐藤 恵喜、沼倉 利光 記録者：氏家 英人
参加市民数	19人
実施内容	議会報告 ○議会活動報告について ○財政状況について ・一般会計当初予算 ・特別会計、公営企業会計当初予算 ・当初予算の主な事業 ○特別委員会及びその他の会議について ○常任委員会からの報告（総務企画・教育民生・産業建設）
	意見交換 参加市民数が19人であり意見交換も活発に展開されたことから津山町地区市民は行政の動きに関心が高いと感じた。新庁舎建設やパークゴルフ場整備などのハード事業への反対意見が多く、また、津山町には市議会議員がいないことから生活に不安に感じられている様子も伺えた。

2. 市民の質問・意見等

会場 で 回 答 し た も の	質 問	(原発、放射能汚染) ・ 女川原発再稼働について賛成か。 ⇒市議会として反対の意見書を関係機関に提出している。 (教育) ・ 津山町の幼稚園、保育園を幼保一元化として進めてほしい。 ⇒津山町内の幼稚園は公立、保育園は民間である。すぐにということだが調整は難しいと思う。 (議会運営、議員) ・ 議会は首長の承認機関であってはならない。議員提案など議会から改革を進めてほしいが。 ⇒空き家条例を議員提案で策定した。また、必要性の薄い市長の政策案を修正したこともある。予算案を否決したことはないが、決算については何度か不認定としたこともある。 (河川管理、道路整備) ・ 橋には歩道がない。橋は曲がっているしアーチになっていて通学する生徒が見えず危険である。市長は 27 年度中に調査し、28 年度中に事業化すると答えたがどうなっている。 ⇒28 年度に設置することになっている。
	意 見	
	要 望	
	提 言	
	()	
会場 で 回 答 し て い な い も の	質 問	
	意 見	(原発、放射能汚染) ・ 原子力再稼働を睨んだ避難計画をなぜ行うのか。訓練の内容もおかしいし、これは訓練のための訓練だ。そんなものを市民にやらせるのは遺憾である。 (庁舎建設) ・ 新庁舎の建設は必要ない。現在の庁舎（総合支所）は少し手を加えればまだまだ使える。人口減少が著しい中、新しい庁舎は必要ない。 (パークゴルフ場) ・ パークゴルフ場はもう古い（遅い）。すでに登米市の周りには沢山ある。 (福祉) ・ 敬老祝い金を減らしたのはなぜか。また、決まってから市民へ報告するのは本末転倒である。 (コミュニティ、集会施設、公民館) ・ 市からの一括交付金制度の説明が 3 月半ばだった。指定管理者へもう少し早くお知らせすべきではなかったか。運動会も急に市からコミュニティ主催に変わった。市の事業への「ビジョン」はないのか。戸惑いを感じている。 (意見交換会) ・ 意見交換のあり方について。昨年の意見交換会について「あれはこうなりましたよ」という報告から始めてほしい。 (公園、公共施設、跡地利用)

		・登米町に歴史学習資料館整備は必要ない。佐沼にある歴史博物館と一緒にしてはどうか。懐古館には学芸員がいない、何の意味があるのか。保存もきちんとしていない。公民館には社会指導主事もない。均衡ある社会教育というものをどう考えているのか。登米総合支所を歴史学習資料館にする案もある。 (まちづくり) ・合併して10年になるが何も変わっていない。土地とか金では企業誘致はできないし、人材もない。登米市には農業と林業しかないので企業誘致より工業短大をつくり人材をまず育てることが大切だ。庁舎建設を止めて短大をつくる必要がある。
	要 望	(まちづくり) ・人口が減少してますます住民負担が増える。若者もいなくなるのも目に見えている。これまでと全く異なった、これまでやったことのない、大胆な発想でまちづくりを進めてほしい。 (庁舎建設) ・庁舎建設に賛成か、反対か、市民アンケートを取るべきだと思う。 (企業誘致、雇用) ・登米市の資源を活かす新産業を誘致するべきだ。例えば先端医療産業やロボット産業など3,000人くらいの雇用が望まれる企業を誘致してほしい。 (コミュニティ、集会施設、公民館) ・公民館職員給与がアップしたが館長は責任が重いが非常勤だ。常勤にするなど優遇してほしい。 (組織、人事) ・支所の窓口にも相談しても予算や権限がなく本庁に行けと言われる。予算と権限を支所職員に与えるか、できる職員を配置してほしい。 (議会、議会運営) ・津山には市議会議員がいないので不安である。議員は選挙の時だけ津山に来るのでは困る。もっと津山のことを考えてほしい。
	提 言	
	()	
その他 特記事項		